

Data(2015年 12月現在)

所在地：〒141-8648 東京都品川区東五反田4-1-17

スタッフ：佐々木美奈子(教授)、渡會睦子(准教授)、伊藤美千代(講師)

URL <http://www.thcu.ac.jp/faculty/healthcare/nursing/>



東京医療保健大学医療保健学部看護学科 地域看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は2005(平成17)年に開学し、昨年、開学10年を迎えました。「科学技術にもとづく正確な医療保健の学問的教育・研究および臨床活動」「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」を建学の精神とし、これからの社会が抱えるさまざまな課題に対して、新しい視点から総合的に探求し解決することのできる人材の育成を目的としています。

医療保健学部看護学科地域看護学領域では、3名の常勤教員に加え、現場経験の長い非常勤教員の協力を得ながら、実習指導を行っています。

Education

どのような教育をしていますか？

看護学を学ぶ初期の段階から地域の健康について考える経験をもつことが大切と考え、「地域保健活動演習」を2年前期の必修科目としています。全学生が、品川区の介護予防活動に参加し、地区内を歩き、区や住民による健康施策や活動を知り、さまざまな既存のデータを検討することにより、元気高齢者の健康について考え、発表し、討論します。

保健師課程は、1学年100名中20名の選択制です。4年生では、助産学専攻と一緒に避難所運営ゲームを用い運営方法を疑似体験し、学びを深めています。公衆衛生看護学実習では、臨地実習前に、

地域診断、保健指導、健康教育のテストを行い、十分な準備のうえ、実習に臨めるようにしています。

Research

どのような研究をしていますか？

領域メンバーそれぞれの研究活動を大切にしています。佐々木は大学院(看護マネジメント学)の教員を兼ね、職場風土や安全の研究を行っています。渡會は、地域連携による思春期問題・性感染症予防対策、災害時における公衆衛生活動等の保健師活動を研究テーマとしています。伊藤は、がんや難病、障がいもちながら働く人への就労支援、産業看護学の体系化に関する研究をテーマとしています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

演習科目(選択)の中で、保健センター保健師と連携しながら、福島県内の被災高齢者住宅への訪問活動を行っています。教員・保健師OBと学生がペアで家庭訪問を行い、学生が集会室での茶話会を主催しています。集合住宅内の健康づくり、つながりづくりに少しでもお役に立つことができればと思っています。

品川区内では、子育て支援事業、介護予防事業での実習を行いながら、連携を深めています。また、学生同好会「青少年の性と健康を考え活動する会」の活動を支援しながら、中学・高校での教育活動を行っています。

ひとこと

メンバー3人、それぞれの活動を大切にしながら、広い視野をもつ保健師・看護師の育成を協力しながら進めています。開学10年となり、卒業生との連携も強めていきたいと思っています。本学には、仕事を継続しながら学ぶことができる大学院があります。働きながら大学院で学ぶことを考えている方は、ぜひご連絡ください。……佐々木

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp